



戸 来 伝
(柁の会)

市長が掲げた公約の実行計画は

任期中の実現を目指す

問 市長が掲げた公約の実現に向けた4年間の実行計画は。

答 4本の政策的柱の中、特に1つ目に掲げた「子どもたちの笑顔」の実現に向け注力し、屋内遊技場の設置や保育料の無償化を目指します。公約の一部は令和7年度当初予算案に計上しており、未着手の事業についても、既存事業の見直しなど財政健全化に配慮しながら4年間の任期中に実現を目指します。

問 保育料の無償化は、子供たちのことを考えると、すぐにでも予算計上すべきでは。

答 まずは中央病院の経営立て直しを念頭に進めていく中で、財源を確保し、時期を捉えて子供たちへの支援も必ず行いたいと考えています。

問 財政調整基金が2021年以降減り続けているが、今後4年間の見通しは。

答 財政調整基金は、年度間の財源調整や災害等の不測の事態に対処するため、一定の残高を確保する必要がありますが、想定では、毎年度5～6億円程度減少し、令和10年度には積み立ての目安額である37億円を下回る見込みです。

問 令和10年度末に37億円を下回るというのは大変な数字だと思うが、どう捉えているか。

答 危機的な状況であることから、基金の維持・確保に向け、事務事業の見直しなどしっかりと進めていきたいと考えています。

問 中央病院への繰出金についての考えは。

答 病院の経営改善がない状態では、さらなる繰り出しが必要になることから、市民の命を守る病院を地域から無くさないよう、覚悟を持って経営改善等に力を注ぎ、財源を確保しながら、できることから着実に進めていきます。

市議会・市民との意見交換会について

令和6年度の『市議会・市民との意見交換会』として、常任委員会ごとにテーマを設けて次のとおり開催しました。

委員会	日程	テーマ	対象者
観光建設常任委員会	1月28日(火)	まちづくり活性化について	十和田商工会議所青年部
民生福祉常任委員会	1月30日(木)	十和田市の今後の子育てについて	こどもの支援に関する取組をしている市民

主な意見・要望など

【まちづくり活性化について】

- ◆ふるさと納税の返礼品は体験型が少ない。
- ◆免許返納をすると市からタクシー券がもらえるが、それを知らない高齢者が多い。
- ◆稲生川のペリカン付近の道路整備を早期に実現してほしい。
- ◆健康意識向上のため、公園に運動遊具などを設置し、幅広い世代が運動できるようにしてほしい。

【十和田市の今後の子育てについて】

- ◆公園や遊具が少ない。また、公園に駐車場があったらよい。
- ◆公共交通機関が少なく、送迎が大変。
- ◆ファミリーサポートセンターは、急な利用ができない。
- ◆子供向けの分かりやすい情報の共有をしてほしい。



そのほかのご意見等はこちら⇒

